

JFMA FM 秋の夜学校 2018

★ 第3夜 2018年10月10日(水)開催 18:15~20:00 [WS0550/WS0551]

＜第1時限＞【オフィス・ワークプレイスの知的生産性研究部会】

「AI時代の知的生産性とワークプレイスの展望」

＜第2時限＞【人と場へのFM投資価値研究部会】

「Happy LivingWork Style を実現するワクワク「場」づくり」

＜概要＞

【オフィス・ワークプレイスの知的生産性研究部会】

「AI時代の知的生産性とワークプレイスの展望」

部会長：齋藤 敦子氏

高度情報化・デジタル社会の到来により、ここ数年でワーカーの働き方は変化しつつあるが、本格的にAI等を活用したビジネスが広がっていきなで、組織の知的生産性とは何かを改めて考えていく時機にきている。一方、日本の働く環境は、未だに長時間労働や仕事の格差などの問題を抱えており、業務における情報化が進んでいないのが現実である。今後、意思決定や研究開発、日常のオペレーションに至るまで、知的生産のプロセスが変わっていくと予想できるが、現状の問題とこれからやってくるAI時代とのギャップを整理し、先進事例もふまえながら知的生産性について再考する。そして、最近注目されている知的生産性を高めるためのウェル・ビーイングなワークプレイスのポイントについて紹介していく。



＜概要＞

【人と場へのFM投資価値研究部会】

「Happy LivingWork Style を実現するワクワク「場」づくり」

部会長：岡田 大士郎 氏

「働き方改革」が社会の関心事になっています。ともすれば「働き方改革」とは、長時間労働をいかに短縮してゆかかの議論に偏っている印象があります。残業を無くし、ワークライフバランスのとれた社会づくりを目指すのは素晴らしいことですが、現場実務を担ってきた立場からすると、「働き方改革」を長時間労働だけの問題のようにとらえることには違和感を覚えます。

今年の「人と場部会」夜学校のテーマは『Happy LivingWork Styleを実現してゆく「働き方改革」の新思考—FM投資が生み出すハピネス時空間創造の実践—』と題して、「働き方改革」の本義と、私たち、社会で働く者にとって今一度「働く」意味と目的、そしてFM投資価値とは何かについて考えてみたいと思います。



JFMA FM 秋の夜学校 2018

★ 第4夜 2018年10月17日(水)開催 18:15~20:00 [WS0552/WS0553]

＜第1時限＞【リスクマネジメント研究部会】

「施設のリスクマネジメントと緊急時対応」

＜第2時限＞【ヘルスケアFM研究部会】

「ヘルスケアの現場からー押し寄せる情報化の波にFMはどう付き合うかー」

＜概要＞

【リスクマネジメント研究部会】

「施設のリスクマネジメントと緊急時対応」

部会長：上倉 秀之 氏

近年の都市集中やネットワークの普及により施設のリスクはますます多様性を持つようになりまし。東日本大震災・阪神淡路大震災のような地震から、台風・集中豪雨、大規模停電、事件・事故などのハードインパクトから、技術革新による設備の陳腐化、立地要件の変化による市場価値の変化、用途転換や管理形態の変更など様々なリスクが施設の運用管理に大きな影響を及ぼしています。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックなどのイベントもリスクとして考える必要があります。本セミナーではFM分野におけるリスクマネジメント・事業継続・緊急時対応等の基本的事項についてお話させていただきます。



＜概要＞

【ヘルスケアFM研究部会】

「ヘルスケアの現場からー押し寄せる情報化の波にFMはどう付き合うかー」

部会長：森 佐絵 氏

いわゆる医療ビッグデータが注目されていますが、ファシリティマネジャーが関わる病院の情報とは上記に加え『有線や無線でやりとり出来るものすべて』です。最近はそのような変化があるでしょうか。身近なところでは、監視カメラの設置依頼が増えていますか。数年前と比べ、ニーズが変化しています。経営面では、診療情報や医療統計の分析と可視化。医療の質評価の支援。これもFMの守備範囲と考えます。世界のデータ量は2020年には2000年の6,500倍まで膨らむそうです。ところが、病院の情報担当者の増員はせいぜい数倍で、介護関係の情報担当者はそもそもが手薄です。ヘルスケアの現場で何がおこっているか紹介し、ファシリティマネジャーに求められるものと活躍のチャンスを考えていきます。

医療職が本来業務に傾注できる環境と、利用者が快適に過ごせる環境づくりのためにFMが寄与できる課題はたくさんあります。秋の夜学校でご自身が関われる課題を見つけていただければと思います。紹介し、ファシリティマネジャーに求められるものと活躍のチャンスを考えていきます。



JFMA FM 秋の夜学校 2018

★ 第5夜 2018年10月31日(水)開催 18:15~20:00 [WS0554/WS0555]

＜第1時限＞【CREマネジメント研究部会】

「CRE(企業不動産)をいかにマネジメントするか」～個からトータルへのマネジメント～

＜第2時限＞【FM財務評価手法研究部会】

「FM財務評価の基礎知識」

<概要>

【CREマネジメント研究部会】

「CRE(企業不動産)をいかにマネジメントするか」

～個からトータルへのマネジメント～

部会長：大野 晃敬 氏

国土交通省によるCRE戦略を実践するためのガイドラインでは、「CRE戦略の実践は、企業の経営戦略の一環であり、経営者等が積極的に主導すべき重要な業務である」との認識が示されています。本研究会もその流れの中で、CREをいかに経営資源として認識し、どのように効率的にマネジメントするかという切り口で各企業の取り組みを共有してきました。

CREを効率的に活用していけるかどうか企業が競争力の差に繋がってきます。良質なCREの提供・活用は企業活動を支援すると共に生産性向上に大きく貢献することが国内外の取組からも示されるようになってきています。

組織運営体制・財務戦略・生産性向上策等の課題解決方法などについて、具体的な事例を参照しつつ、わかりやすく解説いたします。



<概要>

【FM財務評価手法研究部会】

「FM財務評価の基礎知識」

部会長：大山 信一 氏 / 副部会長：篠原 由紀 氏

FM財務評価は「FMの経営への貢献」を財務の視点から説明するためのコミュニケーションツールです。働き方改革やワークライフバランスへの取り組み、環境への配慮やICT技術の導入、防災・減災や国際標準化への対応など、多くの経営課題はFMと深い関わりがあります。FMには品質や供給の側面から様々な対応が求められますが、これらに要する経費や投資を最適化することがFM財務の役割です。

ファシリティコスト評価、施設資産評価、施設投資評価及びライフサイクルコスト評価により、ROA（総資産利益率）の向上に資するFM施策を評価、選定するためのポイントを解説します。

